

報 告 書

開催日時	平成28年7月27日(水) 19:00~20:40	
開催場所	大鶴公民館	
出席議員	(1班) 嶋崎、大谷、森山、坂本(茂)、安達	
	班 長	大谷
	司 会 者	森山
	記 録 者	大谷
参加人数	19名	
主な要望 ・ 提 言 等	<p>○A氏</p> <p>政務活動費は年額いくらか。前もって支給しているのは問題ではないか。領収書を提出してから、政務活動費を支給してはどうか。先にもらえば使わねばばからしいとなるのではないか。市民の税金だから適切に使ってもらいたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>年額24万円。4月に支給される。日田の場合は大変厳しい。使い方は毎年情報公開している。今後とも適切に使用していきたい。</p> </div>	
	<p>○B氏</p> <p>1. 少子高齢化が進んでいる。基幹産業は農業と林業。林業は除間伐、下刈りの補助金も削減されている。これでは山も荒れてしまう。1㎡当たり1万2,3千円になっている。</p> <p>農業も耕作放棄地が年々増えてきている。新規就農者とあるが、なかなか難しい。若い人もいない。田は小さなダムだと考えていただきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>根本的な解決は難しい。新規就農者への補助に取り組んでいくこと。農業委員会との懇談で「今いる農業後継者にも支援がほしい」ということが出され、今年支援する取り組みを増やした。</p> </div>	
	<p>2. 団塊の世代が70歳を迎えている。高齢者施設は民間が作っているが公設の施設がない。民間は入所費用が高くて、入りたくても入れない。日田市も将来を見据えて整備してほしい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>団塊の世代は増えるが、それを過ぎれば一気に減る。将来を見据えながら整備を考える必要がある。国は在宅システムとか民間にしてもらおうとしているが、質が落ちないようにした地域包括システムでやる必要があるのではないか。</p> </div>	

3. 日田市は兼業農家がほとんど。コメが30キロ6千円。農業だけでやって行けと言っても無理。日田市は民間としては給与が安い。「福岡で仕事をしたほうが良い」という人が多い。その辺も考えて、日田で就職をしてよかったというような職場づくりに取り組んでもらいたい。

商工会議所と懇談した。日田はばね関係の会社も多い。求人も募集しているがミスマッチがある。商工業も事業の継承が難しくなっている。誰か継いでくれる人を募集している状況。農業だけでなく商業もそのような取り組みをしているので紹介をしておきたい。

○C氏

1. 子育てとどこでも言うが、子育ての前に結婚ができない、出産ができない。仮に結婚しても子供が産めない。日田の給料が安いからだ。民間の給与がどのくらいか知っているのか。さらに他市に比べて家賃が高い。切れ目のない支援という前に子供を作れないということではないか。この問題をどう考えているか。

原因として、経済的な問題があるということは我々も認識している。そのためにどうするかであるが、掲げている政策をそれぞれ取り組むことではないか。

2. 人を呼び込むというが、日田で働くところがない。林業も材が安いから。木材を中国などに輸出して販売に力を入れるなどしたらどうか。

賃金も安いし、家賃も高く、日田で暮らすには難しさがある。受け皿として空き家を活用してもらおうとか、そのために家財の処分に助成金を出す制度がある。

3. 大鶴で大変困っていることがある。店がないので高齢者が困っている。高齢者も車がなければ日用品の買い物にも行けない。自動車で行かねばならない。この問題を考えてもらえないか。

市内の行商する商店が、車で食料品を販売しているが、売り上げが少ないので、ガソリン代を補助してくれないかという要望もあったが、難しいということであった。要望として伺っておく。

(会場から)

今の問題について、今野菜の直売場を経営しているが、あくまでも地域でできたものを販売しているだけで、例えば刺身など住民が要望するものが揃っているわけではない。この問題については県の事業で、FAXや電話で受付けて商品を配達する人をパートで雇うことができる。今、申請をしているところである。

○D氏

1. 議会災害対策等対応マニュアルについて、内容が分かりにくいので詳しく説明をしてほしい。災害が発生したとき、議会として対策会議をするというのか。

市は災害対策本部が立ち上がる時に、議会も対応する。議員としてまずは、自分家族、地域の災害に対応することである。個人の状況を事務局に報告する。議会は議長を中心に常任委員長、会派代表者で対策会議を開催する。基本的には毎年防災訓練もする。

災害が発生したとき、市民は市に連絡するが、災害対策本部はその情報をまとめ整理することが必要で、マスコミ対策も大変である。

2. 移住しやすい環境づくりについては、廃屋で解体しなければならないような空き家もある。処分しやすいような方向性をしたらどうか。

空家の調査をした。1,200件の空き家のうち900件は改修すれば使えるものがある。自治体によっては強制的に処分する条例を作ったところもあるが、日田市はまだ検討中である。意見を担当課に伝え、充実したものになりたい。

3. 行政代執行はどの程度まで危険があればできるのか。周囲には人家はないが、近寄ってけがをすることもある。そんな家が増えている。

住宅密集地などが対象だと思う。後で、調査し、報告したい。